みどりの食料システム基盤農業技術のアジアモンスーン地域応用促進事業

【令和7年度予算額 100(100)百万円】

相

手

玉

研

究

機

技術の実装を促進

農業者

等

<対策のポイント>

気候変動緩和と持続的農業の実現に資する技術の実装を促進するため、アジアモンスーン地域で共有できる基盤農業技術情報の収集・分析・発信や、国立研究開発法人が有する国際的ネットワークを活用した各地での応用のための共同研究を実施します。

〈事業目標〉基盤農業技術や国際ルールメーキングに資する情報を国際会議やレポート等の方法により発信(10点)「令和7年度まで】

く事業の内容>

- 1. 「みどり戦略」に資する国際連携の体制整備と情報発信 40(40)百万円
 - ① アジアモンスーン地域の基盤農業技術の収集・分析と情報発信

国際農研に設置したみどりの食料システム国際情報センターが研究成果情報の収集・分析を行い、アジアモンスーン地域で共有できる基盤農業技術の情報を国際会議やレポート等により発信します。

② 「国際科学諮問委員会」の活動推進

事業の方向性等について助言を受けるため、著名な研究者やアジアモンスーン地域各国の研究機関の長などを委員とした国際科学諮問委員会を開催します。

2. ネットワークを活用した共同研究による基盤農業技術の応用促進 【拡充】 60(60)百万円

国立研究開発法人が有する**国際共同研究のためのネットワークを活用**し、**我が国の有望な基盤農業技術**について、アジアモンスーン地域の各地で応用のための共同研究等を実施します。

く事業イメージン 「みどり戦略」に資する国際連携の体制整備と情報発信 国際農業 国際機関 海外の大学 G20首席農業研究者会議 研究機関 情 国内研究機関 国際科学諮問委員会 報 大学 みどり国際情報センター 発 業介間另 **JIRCAS** 気候変動COP 各国の農業 研究機関 ネットワーク構築による国際連携の強化 アジアモンスーン地域等へ向 けた技術カタログ

<事業の流れ>

玉

交付 (定額)

(国研) 国際農林水産業研究センター

「お問い合わせ先」農林水産技術会議事務局国際研究官室(03-3502-7466)

ネットワークを活用した共同研究による基盤農業技術の応用促進

水田からの温室効果ガス排出

削減技術の適用地拡大

生物的硝化抑制(BNI)

強化コムギの実証栽培

(ネパール)

(タイ、バングラデシュ、他)

イネいもち病判別システムを 活用した農薬低減の実証 (ベトナム、バングラデシュ)